

産業建設常任委員会 12月10日

白鷹ならではの魅力を磨き上げる

観光交流推進計画の策定について（中間報告） 説明を受けた。

【計画策定の趣旨】

観光業における変化に対し、白鷹ならではの魅力を磨き上げることと、これからの観光の推進及び振興・交流人口の拡大を図る。

【計画期間】

令和7年度から令和11年度までの5カ年。

【計画の位置づけ】

観光振興の基本理念や方向性を示すと共に、町民、観光業者、観光協会、行政などが一体となって取り組む必要があり、観光振興施策を計画的に推進するためのもの。「第6次白鷹町総合計画」と連動を図り、効果的に推進していく。

質疑

インバウンド

【委員】インバウンドの受け入れ環境整備が課題とあるが、本町の受け入れ実績は。

【当局】本町の場合、通過型になっており、把握が困難となっているが、宿泊などによる数値把握を行っていききたい。



にぎわうヤナ場

観光資源の周知

【委員】観光コンテンツの創出について、いい資源があるが周知が足りないと思われる。整理をしていくべきではないか。

【当局】策定委員会内でも同様の意見があり、今後整理し、まとめていききたい。

個人的な資源

【委員】地域資源の活用について、個人で頑張っている方の資源はどうしていくのか。

【町長】個人に対して町の支援というのは難しいと考える。地域づくりに関する交付金などを活用し、地域の中で取り組んでいただければと思う。

【経営戦略の目的と位置づけ】

町民生活に不可欠な水道事業を安定的に継続していくため、施設等の老朽更新や耐震化対策、人口減少に伴う料金収入の減少などの課題を中長期的な投資・財政計画に反映するとともに、その実現方策を示す経営の基本計画として位置づけるもの。

【基本方針】

安心・安全な水を安定して供給するため、施設等の老朽化や耐震化への対策、施設等の縮小化に取り組み、持続可能な経営基盤の確立を目指す。

【投資・財政計画】

老朽更新に伴う耐震化を計画的に確実に実行するとともに、広域

持続可能な経営基盤の確立を目指して

水道事業経営戦略の改定について（中間報告） 説明を受けた。

化や業務の効率化等を進める中で維持管理の縮減に努め、安全で強靱な水道の実現に取り組む。

質疑

人材不足の影響

【委員】耐震化の発注事業の際、水道事業者の不足も考えられるが、その点をどう捉えているか。

【当局】人材不足という厳しい状況は伺っているが、マニュアルをまとめるなど、対応していきたい。同時に、町民へ向けた丁寧な説明も実施していきたい。



いそがれる耐震化

水質管理について

【委員】全国で取り上げられている「有機フッ素化合物」への対応は考えているか。

【当局】国において検査を義務付けた管理強化策が令和7年春をめどに出されるということなので、情報を入手していきたい。

その他

○白鷹町住生活基本計画の策定状況について説明があった。